

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京エアトラベル・ホテル専門学校
設置者	学校法人田中育英会

○「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の授業時数又は単位数	省令で定める授業時数又は基準単位数	配置困難
商業実務専門課程	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) フライトアテンダントコース	夜間・通信	1134 時間	80×2=160時間	
	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) グランドスタッフコース	夜間・通信	1170 時間	80×2=160時間	
	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) グランドハンドリングコース	夜間・通信	1134 時間	80×2=160時間	
	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) エアラインビジネス・大学コース	夜間・通信	1134 時間	80×2=160時間	
	ホテル科 (2年制) サービススタッフコース	夜間・通信	1566 時間	80×2=160時間	
	ホテル科 (2年制) ホテルビジネス・大学コース	夜間・通信	1710 時間	80×2=160時間	
	観光・ツーリズム科 (2年制) トラベルスタッフコース	夜間・通信	1296 時間	80×2=160時間	
	観光・ツーリズム科 (2年制) ニューツーリズムコース	夜間・通信	1296 時間	80×2=160時間	
	観光・ツーリズム科 (2年制) ツーリズム開発・大学コース	夜間・通信	1332 時間	80×2=160時間	
	鉄道交通科 (2年制) 総合運輸・鉄道コース	夜間・通信	360 時間	80×2=160時間	
	鉄道交通科 (2年制) 鉄道ビジネス・大学コース	夜間・通信	360 時間	80×2=160時間	
	ブライダル科 (2年制) プランナーコース	夜間・通信	1224 時間	80×2=160時間	
	ブライダル科 (2年制) ビューティーコンシェルジュコース	夜間・通信	1224 時間	80×2=160時間	
	ブライダル科 (2年制) ライフイベントプロデュース・大学コース	夜間・通信	1476 時間	80×2=160時間	
	総合ビジネス科 (2年制) 事務エキスパートコース	夜間・通信	1512 時間	80×2=160時間	
	総合ビジネス科 (2年制) 好きなことを仕事にするコース	夜間・通信	1512 時間	80×2=160時間	
	総合ビジネス科 (2年制) 大学コース	夜間・通信	1548 時間	80×2=160時間	
	研究科 昼間部 (1年制)	夜間・通信	648 時間	80×1=80時間	
	大学併修学科 (4年制)	夜間・通信	1368 時間	80×4=320時間	
文化教養専門課程	英語キャリア科 (2年制) キャリアデザインコース	夜間・通信	1728 時間	80×2=160時間	
	英語キャリア科 (2年制) 海外留学コース	夜間・通信	1764 時間	80×2=160時間	
	英語キャリア科 (2年制) グローバルビジネス・大学コース	夜間・通信	1944 時間	80×2=160時間	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表公表方法
HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。
(掲載: <https://technosac.jp/school/air-information-disclosure.pdf>)

3. 要件をみたすことが困難である学科

学科名	
(困難である理由)	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京エアトラベル・ホテル専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している
(掲載: <https://technosac.jp/school/air-information-disclosure.pdf>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大学名誉教授	2020/4/1- 2025/3/31	教育全般に対する提 案・指導・チェック や、大学関係者との 橋渡しを期待する。
非常勤	飲食関連顧問	2020/4/1- 2025/3/31	飲食関連をはじめ、 ホテルや観光関連に 関した知見を元に、 関連教育へ生かして いただく。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京エアトラベル・ホテル専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>エアラインサービス科(2年制)、ホテル科(2年制)、観光・ツーリズム科(2年制)、鉄道交通科(2年制)、ブライダル科(2年制)、総合ビジネス科(2年制)、研究科(1年制)、大学併修学科(4年制)、英語キャリア科(2年制)</p> <p>〔作成について〕</p> <p>各授業科目については毎年度系部長会議により授業科目の設定・講義内容についての検討・検証に基づき各授業を担当する教員が作成する。</p> <p>授業科目名、必要時間数、担当教員名、到達目標・テーマ、講義内容、授業計画、成績評価方法、教科書等に関する事項は全科目共通で記載することが必須であり学内統一様式でシラバスを作成している。</p> <p>〔時期について〕</p> <p>翌年度の講義予定は12月～1月に担当教員が作成し、3月の理事会で承認を受ける。3月中に翌年度分のシラバスをHPに公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>「学則」「学生生活のしおり」において成績評価、履修について規定している。</p> <p>各学科で定める授業科目の試験(レポート、小テスト等を含む)により成績評価を行っている。</p> <p>〈参考〉</p> <p><u>学則第21条</u> 校長は教育課程の定めるところにより、修了すべき教科目を試験等による評価のうえ修了したと認める者には当該教科目の修了を認定する。</p> <p><u>学生生活のしおり</u></p> <p>(掲載: https://www.technosac.jp/current/)</p> <p>V-1-6 成績評価</p> <p>(1) 成績は定期試験、小テスト、レポート、提出物、学習態度、出席率の総合評価によって決定される。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価においてはGPAを導入し、学内の成績評価として使用している。 GPAは学生の履修した科目あたりの平均成績を指す。 本校では独自奨学金、学業優秀者の選考資料として教員会議で活用している。 学業成績は授業科目ごとに行う試験（定期試験、小テスト、レポート等）によって評価される。評価点数により100～90点をS、89点～80点をA、79点～70点をB、69点～60点をCとして通知する。</p> <p>成績評価方法についてはHPで公開するほか、学生生活のしおりに掲載し入学時オリエンテーションで新入生に通知している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://technosac.jp/school/air-information-disclosure.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 東京エアトラベル・ホテル専門学校は人生100年時代で多様化する社会に対応するため専門性・人間力・総合力の本質的な力を持った「本物の職業人」を育成することを目的としている。 卒業要件については各学科定める所定の全授業科目を所定の年次に全て合格する事を定めている。詳細についてはディプロマポリシーはじめ学則、学生生活のしおりに掲載しており、HPに公表している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>HPへの掲載</p> <p>https://technosac.jp/school/air-information-disclosure.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京エアトラベル・ホテル専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月上旬に最新情報HP公開している https://technosac.jp/school/air-information-disclosure.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020 年度評価について、学校HPに公開している。 (掲載: https://technosac.jp/school/air-information-disclosure.pdf)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
2021 年度～2022 年度 5 名の委員を選出し学校関係者評価委員会を組織済み。 各位委員の知見を生かし教育内容・学校運営等について評価を実施する。 評価内容を理事会、ボード会、教務委員会に報告し、次年度以降に取り組む。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
NPO法人 理事	2021 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日	NPO法人
商社 役員	2021 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日	企業
ホテル 管理職	2021 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日	企業 (卒業生)
ウェディング会社 管理職	2021 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日	企業
学校法人 評議委員	2021 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2022 年 3 月に委員会を開催、2020 年度評価をHPで公開している。 (掲載: https://technosac.jp/school/air-information-disclosure.pdf)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP アドレスは https://www.technosac.jp/air/ 資料請求は https://www.school-go.info/19gil3/technosac/form.php?fno=1&fsno=1&nns=72
--

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科 (修業年限) コース名称	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
エアラインサービス科 昼間制 (2年制) フライトアテンダントコース / グランドスタッフコース / グランドハンドリングコース / エアラインビジネス・大学コース	200,000 円	750,000 円	330,000 円	
ホテル科 昼間制 (2年制) サービススタッフコース / ホテルビジネス・大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
観光・ツーリズム科 昼間制 (2年制) トラベルスタッフコース / ニューツーリズムコース / ツーリズム開発・大学コース	200,000 円	550,000 円	330,000 円	
鉄道交通科 昼間制 (2年制) 鉄道・運輸コース / 鉄道ビジネス・大学コース	200,000 円	450,000 円	330,000 円	
ブライダル科 昼間制 (2年制) プランナーコース / ビューティーコンシェルジュコース / ライフイベントプロデュース・大学コース	200,000 円	550,000 円	330,000 円	
総合ビジネス科 昼間制 (2年制) 事務エキスパートコース / 好きなことを仕事にするコース / 大学コース	200,000 円	550,000 円	330,000 円	
研究科 昼間制 (1年制)	200,000 円	400,000 円	100,000 円	
大学併修学科 昼間制 (4年制)	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
英語キャリア科 昼間制 (2年制) キャリアデザインコース / 海外留学コース / グローバルビジネス・大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
就学支援(任意記載事項)				

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	東京エアトラベル・ホテル専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		39 人	48 人	87 人
内 訳	第Ⅰ区分	26 人	32 人	
	第Ⅱ区分	11 人	12 人	
	第Ⅲ区分	－ 人	－ 人	
家計急変による支援対象者（年間）				0 人
合計（年間）				87 人
（備考）				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0 人
----	-----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0 人	0 人	0 人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0 人	0 人	0 人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0 人	0 人	0 人
「警告」の区分に 連続して該当	0 人	0 人	0 人
計	0 人	0 人	0 人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	0 人	前半期	0 人	後半期	0 人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	— 人
3月以上の停学	0 人
年間計	— 人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	エアラインサービス科 昼間制（2年制） フライトアテンダントコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2592 単位時間	0 単位時間	558 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (エアラインサービス 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)	兼任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)	総教員数 (エアラインサー ビス科の内数)	
160人		2人	0人	1人	20人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
2021 年度 エアライン科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38 人 (100%)	15 人 (39.5%)	18 人 (47.3%)	5 人 (13.2%)
（主な就職、業界等） ホテル業界（グランベルホテル、ホテル小田急、ブライトンホテル）、事務系（税理士事務所、歯科医院、商工会議所）、航空業界等			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 観光英語検定 実用英語検定 TOEIC みんなの英語検定 マナー・プロトコール検定 航空検定（1 級、2 級） AXESS スペシャリスト検定（国内・国際準 1 級、2 級）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状（2021 年度 エアライン科の状況）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	5 人	7.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更、金銭的な理由による		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	エアラインサービス科 昼間制（2年制） グランドスタッフコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2592 単位時間	0 単位時間	558 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (エアラインサービ ス科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)	兼任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)	総教員数 (エアラインサ ービス科の内数)	
160人		3人	0人	1人	20人	21人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オフ・キャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
2021 年度 エアライン科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38 人 (100%)	15 人 (39.5%)	18 人 (47.3%)	5 人 (13.2%)
（主な就職、業界等） ホテル業界（グランベルホテル、ホテル小田急、ブライトンホテル）、事務系（税理士事務所、歯科医院、商工会議所）、航空業界等			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 観光英語検定 実用英語検定 TOEIC みんなの英語検定 マナー・プロトコール検定 航空検定（1 級、2 級） AXESS スペシャリスト検定（国内・国際準 1 級、2 級）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状（2021 年度 エアライン科の状況）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	5 人	7.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更、金銭的な理由による		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	エアラインサービス科 昼間制（2年制） グランドハンドリングコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間	2592 単位時間	0 単位時間	558 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (エアラインサービス 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)	兼任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)	総教員数 (エアラインサ ービス科の内数)	
1 6 0 人		1 人	0 人	1 人	2 0 人	2 1 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オフ・キャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
2021 年度 エアポートサービス科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 航空業界（羽田空港サービス）、運輸業界（東京メトロ）、その他			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 観光英語検定 実用英語検定 TOEIC みんなの英語検定 マナー・プロトコール検定 航空検定（1 級、2 級） アマデウスシステム検定（初級・中級）			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状（2021 年度 エアポートサービス科の状況）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	1 人	11.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更による		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	エアラインサービス科 昼間制（2年制） エアラインビジネス・大学コース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間	2592 単位時間	0 単位時間	558 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (エアラインサービス 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)	兼任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)	総教員数 (エアラインサ ービス科の内数)	
1 6 0 人		2 人	0 人	1 人	2 0 人	2 1 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
2021 年度 エアライン科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38 人 (100%)	15 人 (39.5%)	18 人 (47.3%)	5 人 (13.2%)
(主な就職、業界等) ホテル業界（グランベルホテル、ホテル小田急、ブライトンホテル）、事務系（税理士事務所、歯科医院、商工会議所）、航空業界等			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 観光英語検定 実用英語検定 TOEIC みんなの英語検定 マナー・プロトコール検定 航空検定（1 級、2 級） AXESS スペシャリスト検定（国内・国際準 1 級、2 級）			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状（2021 年度 エアライン科の状況）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	5 人	7.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、金銭的な理由による		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ホテル科 (2年制) 昼間制 サービススタッフコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1350 単位時間	0 単位時間	1224 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (ホテル科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ホテル科の内数)	兼任教員数 (ホテル科の内数)	総教員数 (ホテル科の内 数)	
120人		17人	0人	2人	20人	22人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
61人 (100%)	15人 (24.6%)	45人 (73.8%)	1人 (1.6%)
（主な就職、業界等） ホテル業界（ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル、ホテルインディゴ軽井沢、星野リゾートマネジメント、パークハイアット東京）等			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） レストランサービス技能検定、ホテルビジネス実務検定、秘書検定、マナープロトコール検定、英語検定、パソコン検定、観光英語検定、手話検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103人	12人	11.7%
（中途退学の主な理由） ・進路変更の為・精神的に通学困難な為・体調不良の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ホテル科（2年制） 昼間制 ホテルビジネス・大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1602 単位時間	0 単位時間	1224 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 （ホテル科の内数）		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 （ホテル科の内数）	兼任教員数 （ホテル科の内数）	総教員数 （ホテル科の内 数）	
120人		12人	0人	2人	20人	22人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
61人 (100%)	15人 (24.6%)	45人 (73.8%)	1人 (1.6%)
（主な就職、業界等） ホテル業界（ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル、ホテルインディゴ軽井沢、星野リゾートマネジメント、パークハイアット東京）等			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） レストランサービス技能検定、ホテルビジネス実務検定、秘書検定、マナープロトコール検定、英語検定、パソコン検定、観光英語検定、手話検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103人	12人	11.7%
（中途退学の主な理由） ・進路変更の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	観光・ツーリズム科 (2年制) 昼間制 トラベルスタッフコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間	2574 単位時間	0 単位時間	828 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (観光・ツーリズム科 の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (観光・ツーリズム 科の内数)	兼任教員数 (観光ツーリズム科 の内数)	総教員数 (観光ツーリズム科の内数)	
6 0 人		1 人	0 人	1 人	2 3 人	2 4 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オフ・キャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度 観光旅行科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	4人 (36.4%)	4人 (36.4%)	3人 (27.2%)
(主な就職、業界等) 施設管理業界（ウエルネスサプライ）、ホテル業界（星野リゾート、株式会社山水荘） 他			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国内・総合旅行業務取扱管理者、サービス介助士、観光英語検定、手話検定など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 ※2021 年度 観光旅行科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	4人	18%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	観光・ツーリズム科 (2年制) 昼間制 ニューツーリズムコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間	2574 単位時間	0 単位時間	828 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (観光ツーリズム科の 内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (観光ツーリズム科 の内数)	兼任教員数 (観光ツーリズム科 の内数)	総教員数 (観光ツーリズム 科の内数)	
60人		1人	1人	1人	23人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照	
学修支援等	
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度 観光旅行科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	4人 (36.4%)	4人 (36.4%)	3人 (27.2%)
(主な就職、業界等) 施設管理業界（ウエルネスサプライ）、ホテル業界（星野リゾート、株式会社山水荘） 他			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、 社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対 策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもち ろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国内・総合旅行業務取扱管理者、サービス介助士、観光英語検定、手話検定など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 ※2021 年度 観光旅行科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	4人	18%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に 取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さ ないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の 聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウ ンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	観光・ツーリズム科 (2年制) 昼間制 ツーリズム開発・大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間	2826 単位時間	0 単位時間	828 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (観光・ツーリズム科 の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (観光・ツーリズム 科の内数)	兼任教員数 (観光・ツーリズム 科の内数)	総教員数 (観光・ツーリ ズム科の内数)	
6 0 人		0 人	0 人	1 人	2 3 人	2 4 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照	
学修支援等	
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れる。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オブソクパ」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教える。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度 観光旅行科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	4人 (36.4%)	4人 (36.4%)	3人 (27.2%)
(主な就職、業界等) 施設管理業界（ウエルネスサプライ）、ホテル業界（星野リゾート、株式会社山水荘） 他			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国内・総合旅行業務取扱管理者、サービス介助士、観光英語検定、手話検定など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 ※2021 年度 観光旅行科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	4人	18%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	鉄道交通科（2年制） 昼間制 鉄道・運輸コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2070 単位時間	0 単位時間	756 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 （鉄道交通科の内数）		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 （鉄道交通科の内数）	兼任教員数 （鉄道交通科の内数）	総教員数 （鉄道交通科の内数）	
80人		29人	0人	1人	23人	24人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	2人 (10%)	17人 (85%)	1人 (5%)
（主な就職、業界等） 鉄道業界（日本貨物鉄道株式会社、神奈川臨海鉄道株式会社、北海道旅客鉄道株式会社、 (株)車輛組立藤波組）等			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、 社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対 策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもち ろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国内・総合旅行業務取扱管理者、サービス介助士、観光英語検定、手話検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	2人	5.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に 取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さ ないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の 聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウ セリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	鉄道交通科（2年制） 昼間制 鉄道ビジネス・大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2322 単位時間	0 単位時間	756 単 位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 （鉄道交通科の内数）		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 （鉄道交通科の内数）	兼任教員数 （鉄道交通科の内数）	総教員数 （鉄道交通科の 内数）	
80人		2人	0人	1人	23人	24人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	2人 (10%)	17人 (85%)	1人 (5%)
（主な就職、業界等） 鉄道業界（日本貨物鉄道株式会社、神奈川臨海鉄道株式会社、北海道旅客鉄道株式会社、 (株)車輛組立藤波組）等			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、 社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対 策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもち ろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国内・総合旅行業務取扱管理者、サービス介助士、観光英語検定、手話検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	2人	5.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に 取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さ ないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の 聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウ セリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		ブライダル科 (2年制) 昼間制 プランナーコース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	1728 単位時間		1944 単位時間	0 単位時間	1530 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	
				単位時間					
生徒総定員数 (ブライダル科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ブライダル科の内 数)	兼任教員数 (ブライダル科の内 数)	総教員数 (ブライダル科 の内数)			
120人		12人	0人	2人	26人	28人			

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
40人 (100%)	6人 (15%)	31人 (77.5%)	3人 (7.5%)
（主な就職、業界等） ブライダル業界（ジョイフル丸山、ティア 他）、衣装レンタル業（まるやま京彩、さが美ホールディングス）等			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ABC 検定 色彩検定 フォーマルウェア検定 秘書検定 IWPA 観光英語検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66人	2人	3.0%
（中途退学の主な理由） ・コロナ禍で1年休学、進路を変更した為退学。 ・持病がありこのまま通学をするのが難しくなった。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ブライダル科（2年制） 昼間制 ビューティーコン シエルジュコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1944 単位時間	0 単位時間	1530 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (ブライダル科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ブライダル科の内 数)	兼任教員数 (ブライダル科の内 数)	総教員数 (ブライダル科 の内数)	
120人		13人	0人	2人	26人	28人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
40人 (100%)	6人 (15%)	31人 (77.5%)	3人 (7.5%)
（主な就職、業界等） ブライダル業界（ジョイフル丸山、ティア 他）、衣装レンタル業（まるやま京彩、さが美ホールディングス）等			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ABC 検定 色彩検定 フォーマルウェア検定 秘書検定 IWPA 観光英語検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66人	2人	3.0%
（中途退学の主な理由） ・コロナ禍で1年休学、進路を変更した為退学。 ・持病がありこのまま通学をするのが難しくなった。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ブライダル科（2年制） 昼間制 ライフイベントプロデュース・大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2196	0	1530	0	0
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
		単位時間					
生徒総定員数 （ブライダル科の内数）		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 （ブライダル科の内 数）	兼任教員数 （ブライダル科の内 数）	総教員数 （ブライダル科 の内数）	
120人		6人	0人	2人	26人	28人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
40人 (100%)	6人 (15%)	31人 (77.5%)	3人 (7.5%)
（主な就職、業界等） ブライダル業界（ジョイフル丸山、ティア 他）、衣装レンタル業（まるやま京彩、さが美ホールディングス）等			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ABC 検定 色彩検定 フォーマルウェア検定 秘書検定 IWPA 観光英語検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66人	2人	3.0%
（中途退学の主な理由） ・コロナ禍で1年休学、進路を変更した為退学。 ・持病がありこのまま通学をするのが難しくなった。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	総合ビジネス科 昼間制 (2年制) 事務エキスパートコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間	1314 単位時間	0 単位時間	792 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (総合ビジネス科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (総合ビジネス科の 内数)	兼任教員数 (総合ビジネス科の 内数)	総教員数 (総合ビジネス 科の内数)	
4 0 人		3 人	0 人	2 人	1 9 人	2 1 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度 ビジネスマナー・秘書科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	3 人 (75%)	1 人 (25%)
(主な就職、業界等) 販売業（ヨドバシカメラ）他			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 秘書検定 2 級、秘書検定準 1 級、色彩検定、マナープロトコール検定 3 級 Microsoft 検定（Excel・Word・PowerPoint）、観光英語検定、手話検定など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 ※2021 年度 ビジネスマナー・秘書科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8 人	1 人	12.5%
(中途退学の主な理由) オンライン授業に馴染めず、対面授業にも休みがちになる。 他分野に興味を持ち、退学となる。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	総合ビジネス科 昼間制 (2 年制) 好きなことを仕事にするコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1314 単位時間	0 単位時間	792 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (総合ビジネス科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ビジネスマナー・ 秘書科の内数)	兼任教員数 (ビジネスマナー・ 秘書科の内数)	総教員数 (ビジネスマナ ー・秘書科の内 数)	
40人		0人	0人	2人	19人	21人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度 ビジネスマナー・秘書科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	3 人 (75%)	1 人 (25%)
(主な就職、業界等) 販売業（ヨドバシカメラ）他			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている			
(主な学修成果（資格・検定等）) 秘書検定 2 級、秘書検定準 1 級、色彩検定、マナープロトコール検定 3 級 Microsoft 検定（Excel・Word・PowerPoint）、観光英語検定、手話検定など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状 ※2021 年度 ビジネスマナー・秘書科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8 人	1 人	12.5%
(中途退学の主な理由) オンライン授業に馴染めず、対面授業にも休みがちになる。 他分野に興味を持ち、退学となる。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	総合ビジネス科 昼間制 (2年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間	1314 単位時間	0 単位時間	792 単位時間	0 単位時間	0 単位時
			単位時間				
生徒総定員数 (総合ビジネス科の 内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (総合ビジネス科の 内数)	兼任教員数 (総合ビジネス科の 内数)	総教員数 (総合ビジネス 科の内数)	
4 0 人		1 人	0 人	2 人	1 9 人	2 1 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度 ビジネスマナー・秘書科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	3 人 (75%)	1 人 (25%)
(主な就職、業界等) 販売業（ヨドバシカメラ）他			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている			
(主な学修成果（資格・検定等）) 秘書検定 2 級、秘書検定準 1 級、色彩検定、マナープロトコール検定 3 級 Microsoft 検定（Excel・Word・PowerPoint）、観光英語検定、手話検定など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状 ※2021 年度ビジネスマナー・秘書科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8 人	1 人	12.5%
(中途退学の主な理由) オンライン授業に馴染めず、対面授業にも休みがちになる。 他分野に興味を持ち、退学となる。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	研究科 昼間部（1年）				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	864 単位時間	396 単位時間	270 単位時間	216 単位単位	0 単位単位	0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		0人	0人	1人	2人	3人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 各学科 2 年間の学習内容をより確実な理解とするために総まとめを行い、業界に必要とされる各専門関係で活躍できるようための支援授業をおこなう。 技術者として必要とされる専門知識を確実に理解できるように支援している。 また、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
41人 (100%)	0人 (0%)	36人 (87.9%)	5人 (12.1%)
（主な就職、業界等） 各種業界（東急イン、調布パルコ、ルミネエスト、JR 東海、等）			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49人	8人	16.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更、就職		
（中退防止・中退者支援のための取組） 情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	大学併修学科 昼間制（４年生）			○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3 4 5 6 単位時間	9864 単位時間	36 単位時間	900 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		58人	3人	6人	人	人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	3 人 (75%)	1 人 (25%)
（主な就職、業界等） 各種業界（（株）アウトソーシングテクノロジー、等）			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	1 人	3 %
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養専門課程	英語キャリア科 昼間制（2年制） キャリアデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1944 単位時間	828 単位時間	216 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 （英語キャリア科の内 数）		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 （英語キャリア科の 内数）	兼任教員数 （英語キャリア科の 内数）	総教員数 （英語キャリア 科の内数）	
80人		5人	1人	2人	15人	17人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オフ・キャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	9人 (33.3%)	10人 (37%)	8人 (29.7%)
（主な就職、業界等） ホテル業界（ハイアットセントリック金沢、ルートインジャパン、ANA インターコンチネンタルホテル）、観光業界（T-LIFE ホールディングス株式会社）等			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 観光英語検定 実用英語検定 TOEIC みんなの英語検定 マナー・プロトコール検定 航空検定（1級、2級） AXESS スペシャリスト検定（国内・国際準1級、2級）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	4人	9.5%
（中途退学の主な理由） オンライン授業に馴染めなく、対面授業も休みがちになった。 他に興味のある分野が出来た。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養専門課程	英語キャリア科 昼間制（2年制） 海外留学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1944 単位時間	828 単位時間	216 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 （英語キャリア科の内 数）		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 （英語キャリア科の 内数）	兼任教員数 （英語キャリア科の 内数）	総教員数 （英語キャリア 科の内数）	
80人		2人	0人	2人	15人	17人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	9人 (33.3%)	10人 (37%)	8人 (29.7%)
（主な就職、業界等） ホテル業界（ハイアットセントリック金沢、ルートインジャパン、ANA インターコンチネンタルホテル）、観光業界（T-LIFE ホールディングス株式会社）等			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 観光英語検定 実用英語検定 TOEIC みんなの英語検定 マナー・プロトコル検定 航空検定（1 級、2 級） AXESS スペシャリスト検定（国内・国際準1 級、2 級）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	4人	9.5%
（中途退学の主な理由） オンライン授業に馴染めなく、対面授業も休みがちになった。 他に興味のある分野が出来た。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養専門課程	英語キャリア科 昼間制（2年制） グローバルビジネス・大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2196 単位時間	828 単位時間	216 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (英語キャリア科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (英語キャリア科の内 数)	兼任教員数 (英語キャリア科の内 数)	総教員数 (英語キャリア 科の内数)	
80人		3人	0人	2人	15人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

（概要）

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

（概要）

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	9人 (33.3%)	10人 (37%)	8人 (29.7%)
（主な就職、業界等） ホテル業界（ハイアットセントリック金沢、ルートインジャパン、ANA インターコンチネンタルホテル）、観光業界（T-LIFE ホールディングス株式会社）等			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 観光英語検定 実用英語検定 TOEIC みんなの英語検定 マナー・プロトコール検定 航空検定（1級、2級） AXESS スペシャリスト検定（国内・国際準1級、2級）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	4人	9.5%
（中途退学の主な理由） オンライン授業に馴染めなく、対面授業も休みがちになった。 他に興味のある分野が出来た。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		